



いのちをつなぐ水と流域・地球市民対話プロジェクト

地域対話フォーラム2023 in Aichi

趣旨説明

古澤礼太(水と流域PJ推進事務局長、中部大学国際ESD・SDGsセンター 准教授)



「いのちをつなぐ水と流域・地球市民対話」プロジェクト

- 2025年大阪・関西万博に向けた3年プロジェクト
- サステナビリティの根源としての「水」
- 「水」を中心に、SDGsの推進手法を構築し世界に発信
- **テーマの3分類**
 - ① 水と環境：水環境・利水・治水など
 - ② 水と生業：林業・農業・水産業・エネルギーなど
 - ③ 水と文化：まちづくり・観光・伝統知などテーマの3分類
- **「流域」で考える**

「いのちをつなぐ水と流域・地球市民対話」プロジェクト

- 提唱団体：イベント学会
- 支援団体：地球産業文化研究所（GISPRI）



愛・地球博（2005）の
理念継承



初代会長 木村尚三郎



第2代会長 堺屋太一



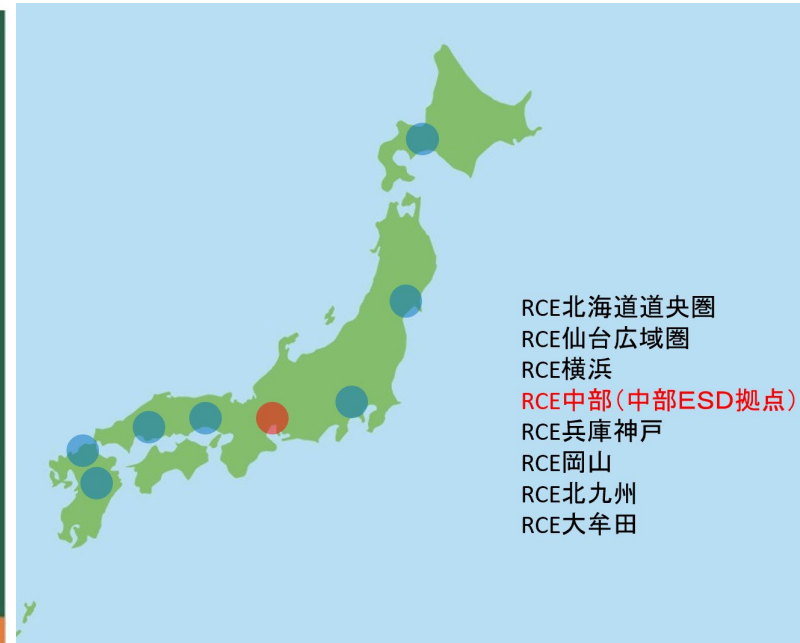
第3代会長 中村利雄

- 愛・地球博とサステナビリティ
テーマ「**自然の叡智**」
持続可能な開発のための教育（**ESD**）のキックオフ（2005～2014年）

「いのちをつなぐ水と流域・地球市民対話」プロジェクト

■ 東海・中部地域のESD

愛・地球博を契機に「産・官・学・民」のESDネットワーク構築
国連（国連大学）「ESD地域拠点計画」（2005年～現在、世界180拠点）
中部ESD拠点（RCE Chubu）2007年～現在（80団体加盟）



「いのちをつなぐ水と流域・地球市民対話」プロジェクト

- 提唱団体：イベント学会
- 支援団体：地球産業文化研究所

推進委員会

委員
飯吉 厚夫（中部ESD拠点 代表、中部大学 理事長・総長）※委員長
稲本 正（イベント学会 会員、工芸家、作家、トヨタ自然学校設立学長）
遠藤 和重（国連地域開発センター センター長）
佐藤 久美（イベント学会 会員、名古屋国際工科専門職大学 教授）
竹内 恒夫（中部ESD拠点 運営委員長、名古屋大学 特任教授）
谷 喜久郎（イベント学会 中部地域本部長、（株）新東通信 会長・社長）
細田 衛士（東海大学 副学長、中部大学 学事顧問）
中村 利雄（イベント学会 会長、愛・地球博 事務総長）
古澤 礼太（イベント学会 理事、中部大学 准教授）※推進事務局

実行委員会

団体	役職	委員
中部ESD拠点協議会	運営委員	朴恵淑（三重大学 特命副学長）※委員長
イベント学会中部地域本部	会員	稲本 正（イベント学会 会員、工芸家、作家、トヨタ自然学校設立学長）
国連地域開発センター（UNCRD）	所長	遠藤和重（国連地域開発センター[UNCRD] 所長）
中部大学国際ESD・SDGsセンター	センター長	山羽基（中部大学 教授）
水辺とまちの入口研究所	共同代表	秀島栄三（名古屋工業大学 教授）
「水と流域・地球市民対話」プロジェクト推進委員会事務局	事務局長	古澤礼太（中部大学 准教授）
「水と流域・地球市民対話」プロジェクト実行委員会事務局	事務局長	原田伸介（新東通信 文化開発コーディネーター）

プロジェクトの進め方

「2005年愛・地球博理念継承」

- 東海・中部地域で発展している市民参加型SDGs活動を検証

「大阪・関西万博を契機」

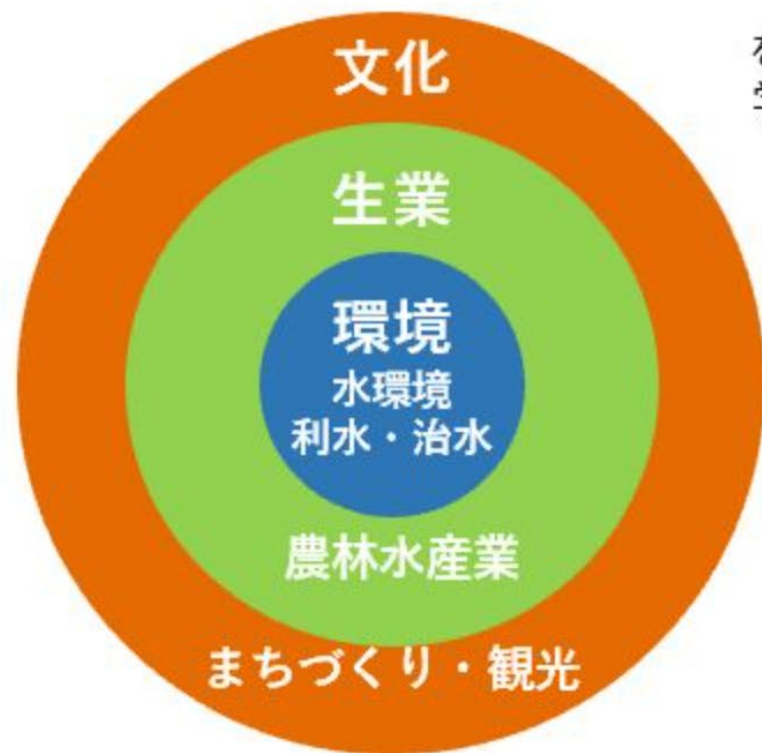
- 琵琶湖・淀川水系等から成る大阪湾流域圏の持続可能な発展を検討

- 「水と流域」を核とするローカルなSDGs推進手法の構築に向けた全国的・国際的なムーブメントへと発展

フォーラム開催

- ① 2023/2 愛知（現代の課題）地域フォーラムⅠ
- ② 2024/2 大阪（過去から学び直し）地域フォーラムⅡ
- ③ 2025/2 東京（未来への希望）全国フォーラム
- ④ 2025/8 万博（超未来2050年への提言）国際フォーラム

プロジェクトの3層構造と3本柱



水に関わる諸課題の解決に向けて、「流域圏」を地域単位として課題解決をめざす方法を検討・検証し、自然の摂理と地域の伝統的な知恵と文化に学びながら、ワクワクする未来社会の創造をめざします。

3テーマと3視点	水と環境 (水環境・利水・治水)	水と生業 (農林水産業・エネルギー)	水と文化 (まちづくり・観光・伝統知)
人づくり (教育)	○	○	○
モノづくり (技術)	○	○	○
未来づくり (協働)	○	○	○